大阪大学経済学研究科/経済学部

部局間協定校派遣生の海外留学体験

１．基本情報

体験談記入日（☆）	2024 年　9 月　2 日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部
留学時の学年（☆）	3 年
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	■　交換留学　　□　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	ドイツ
滞在都市（☆）	フランクフルト
留学先大学等名（☆）	ゲーテ大学
留学先での所属学部/研究科（☆）	経済経営学部
留学先で主に使用した言語	英語・ドイツ語
渡航先への入国日（☆）	2023 年　9 月　5 日
渡航先からの出国日（☆）	2024 年　8 月　24 日
渡航先国での滞在期間（☆）	1 年間
同伴者の有無・続柄・年齢等	
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称	Leadership in the Financial industry
履修期間	2023 年 10 月～2024 年 2 月
授業時間（〇分×△回）	
授業形態（講義・セミナー）	セミナー50 人
取得単位数	6
履修科目名称	Governance from an Active investor’s Perspective
履修期間	2023 年 10 月～2024 年 2 月
授業時間（〇分×△回）	
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	6
履修科目名称	Deutsch/German B1.2
履修期間	2023 年 10 月～2024 年 2 月
授業時間（〇分×△回）	
授業形態（講義・セミナー）	セミナー
取得単位数	9

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	

成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	ドイツ語はプレゼンテーションと作文試験、学習計画を提出 経済学部授業は筆記多めの試験。パソコンを用いた試験もあった。
履修科目の制限等（あれば）	人数制限のあるものは、応募が必要。他の学部の講義も聴講可能（単位はわからない）。
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	応用分野の講義は英語のものが多かった。学部・大人数講義のものは限られているが、セミナーやマスターの英語授業は豊富。
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	留学生のためのドイツ語講座を毎学期受けられる。Eunita という語学勉強のためのマッチングツールがあった。経済学部のための Buddy プログラムもある（申し込み必要）。
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	特別な扱いはなかった。
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	食堂は十分にあり、季節ごとに伝統的な料理が出たりする。アジア系の食堂もある。割引後価格で 5€～8€ほどで十分な量食べられる。
図書館について	十分な勉強スペースを備えた図書館が 5 つ程度ある。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	利用しなかった
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	体育の授業をとれる。15€程度支払う必要あり（IBAN コードが必要）。
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	
オリエンテーション等学校主催の行事について	学校案内などがあった。メールで学期に 1 度くらいの頻度で案内がくる。
現地の学生との交流について	ドイツ語話者との交流は少なめ。
他の留学生との交流について	講義の半分ほどは留学生であり、寮などでも交流がさかん。
学外での活動について(地域コミュニティー活動等)	ESN という学生交流団体が、毎週イベントを用意してくれたため、他の留学生との交流の機会は十分に
長期休暇中の過ごし方	
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	学生ビザ

ビザの取得手続について（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	入国後 1 か月で外国人局のアポが取れ、そこから 8 週間ほどでビザカードが手に入る。時期によって入手までの期間は変化するが、1 か月以上はかかる。この間の期間は仮ビザが発行される。
利用航空会社	シンガポール航空
入国の際の現地空港名	フランクフルト空港（FRA）
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	S バーンか RE にのり中央駅まで 30 分程度
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	ビザ申請に提出する予定のものを全てと帰りの航空券、寮などの住居の証明。
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	住民票登録を到着直後にする。住居の近くで。学生証の受取。住民票受取後、書類がそろっていれば外国人登録局のアポを取る。
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有　　無
奨学金名	
奨学金月額受給額（円）	
入国時に用意した金額	閉鎖口座へ 960€（毎年変化）×滞在か月分 閉鎖口座はオンライン口座（Expatrio）で出国前に作った。
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	Visa カード、基本どこでもカードは使える。マーケットなどの個人商店の一部は現金のみ。IBAN コードがある口座を持っていた方が便利（友達と送りあったりも簡単にできる）。
留学中に利用した銀行名	Sparkasse（Nassauisch）
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	学生無料の口座をオンラインで作った。郵便物の指示に従うと作れる。
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	問題なく使用できる。Sparkasse もデビットカード。ATM での引き出しも簡単。
日本からの送金方法について	Wise を利用。手数料が安い。銀行口座も IBAN コード有りなので、友達はこれを使っていた。
1 ヶ月の生活費（目安）	ビザ申請時の金額（960€程度）のうちで、基本は生活。旅行や保険料の支払い等臨時の出費が多い時は、追加で必要だった。（寮が格安だったため可能だった）
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮(一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	一人部屋（共有キッチン・共有バストイレ）
家賃	240€
住居を探した方法・時期	学校の紹介。できるだけ早く申し込みをすると良い。
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	キャリーとバックのみ。電車に乗り込むときに大きな段差があるので、一人で運べる量にしておいた方が良い。
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	朝食はバナナなどのフルーツ、昼食は学食を利用。夕食は自炊。
1ヶ月の食費	約 70€（スーパーは 2 週間で 30€ほど）
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	各スーパーブランドが売り出している SIM カードがお勧め。REWE 等。アクティベートのために郵便局に行った覚えがあるが、簡単な身分確認で一回のみだった。
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	学校施設に十分な Wi-Fi あり。寮も Wi-Fi 設備がつけられた。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	日本から持って行ったもので十分使える。
郵便について	宅配は不在通知がポストに入る。ものによっては、宅配ロッカーでの受取が可能だが、キオスク（コンビニのようなもの）に取りに行かなければならないものもある。キオスクでは、身分証必須・追加料金も必要な場合が多い。
交通機関について	学生証で Hessen 州内は乗り放題。バストラム、Ubahn、Sbahn,RE, RB 等。ICE などの高速列車は対象外。また、毎月 10€で Deutschland Ticket にアップデート可能（学生価格）。これを持っておくと、ドイツ全域で乗り放題になる。
治安について	中央駅東側と北側は要注意だが、学校の周りは比較的治安が良い。
保険について	DAK　Gesundheit に加入。学期始まり（10 月）からしか保証してくれない（どこの保険も基本そう）。

医療機関・薬について	近くに令子ヒッツィガー診療所があり、日本語訳してくれるため利用していた。診療代は基本保険で出るため無料だったが、薬は自費。薬は 5€ほどのものが多いが、ものにより 15€ほどする。
気候と服装について	ダウンコートが必要なくらいの寒い季節が 1，2 か月あった。2 月くらいから暖かくなってきたが、暑くなるのは 5，6 月。夏は 27 度前後と暑すぎないが年によるらしい。
普段の買い物について	REWE と Penny をよく利用。Penny や Lidl、Aldi が格安スーパーブランド。品数が多く充実しているのが REWE。
娯楽・行事について	学生団体の ESN が毎週イベントを企画してくれるため、それによく参加していた。シーズンごとに短期旅行も企画してくれるため、オクトーバーフェストなどの伝統行事も楽しむことができた。
日本語の使用について	同じゲーテ大学に日本人留学生がたくさんいたため、一緒に旅行へ行ったりすることができ、トラブルがあったときなども相談できた。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	鍋キューブ、パックご飯、夏の暑さ対策、冬の寒さ対策
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	ドイツ語の勉強。ドイツ語の意欲が高いクラスに入ることができて、そこでたくさんの留学生と交流ができたため。 経済学の基礎の勉強。講義は応用が多いため、基礎を学んでおいたことで理解がしやすかった。
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	1Day のｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟに参加のみ。
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	1 年延長予定だったため、あまり行わなかった。ロンドンキャリアフォーラムに参加（志望業界の出展が少なかったため、私的にはあまりプラスにならなかった。）。

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学	IELTS を受けた。ドイツ語と英語の語学教室にも半年間いった。

能力試験対策等	ドイツ語に関しては、第二言語ではなかったため基礎を半年間で学べたのでとても良かった。
留学中の学習方法、工夫したこと等	タンデム(Eunita)という語学交換のネットシステムを使った。（1対1のマッチングシステム、私は日本語を教え、相手に英語を教えてもらう。）このシステムでマッチした人と、一週間に一回語学交流（英語）をしていた。また、日本語を学んでいるドイツ人数人と、日本人数人で毎週 language café のようなものを開催していた。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	英語に関しては、リスニングとスピーキングに自信が付き、始めよりはレベルアップした実感がある。ドイツ語も初級から中級に上がったという所感。

８．その他

留学して得られたこと	様々な文化の違いを実感できたこと。経済学の講義の内容。語学力。行動力。
留学中に困ったこと	体調不良。食生活を崩さないことをお勧めします。夏にエアコンがないこと。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	学生ビザ - ドイツ外務省 ドイツの銀行口座開設の手順とおすすめ銀行 - せかいじゅうライフ-海外移住をもっと身近に世界で暮らす情報メディア-

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

国によって違うであろう経済感（どのように経済を教えるのか、どのような価値観が重視されるのか）を知りたいと思い経済学部の交換留学に応募しました。実際、現地に１年間住んでみて、暮らしの中で何を大切にするのかというのが根本的に違うため、発展する経済分野や価値観も異なっているのだというのが実感できたので、とても有意義な１年間を過ごせたと思います。また、始めは語学力は少し上がる程度かなとおまけ程度に考えていたのですが、定期的に語学交流を行う機会に恵まれたため、予想以上に語学力を向上させることができました。

もし、留学を考えている方がいらっしゃいましたら、ゲーテ大学をとてもおすすめします。主な理由としては、ドイツという英語が第一言語ではない国であるということ、講義の内容が多岐にわたっていること、ESN という学生団体の存在があることがあげられま

す。一つ目に関しては、英語が第一言語ではないため、講義や日常会話の中で優しい英語が使われていることが多く、理解しやすいと思います。留学生の中でも、いろんなヨーロッパの国からの生徒がいるため、なまりがあり聞き取りにくいこともありましたが、相手は第二言語ということを理解してゆっくり返してくれたり、こちらの言葉も聞き取ろうとしてくれたりしますので、その点がとても心強く、会話をすることの抵抗感が少なくなりました。二つ目に関しては、ゲーテ大学は経済経営学科であるため、マネジメント系の授業から、経済学系、経営系の授業など様々なものが取れます。授業の自由度も高いので、自分の取りたいものをとることができます。三つ目に関しては、ESN という学生団体が、毎週イベントを企画してくれるため、友達作りができました。特に、オクトーバーフェストの短期旅行に参加したのですが、伝統的なイベントに行けた喜びももちろん、そこで様々な人と仲良くなれたので、留学前は友達ができなければどうしようと心配していましたが、不安が解消されたように思います。この他にも、他のヨーロッパ諸国へのアクセスの利便さ等、たくさんドイツ・ゲーテ大学を選択するメリットがあると私は考えます。

留学中に大変だったこととしては、留学の終わり掛けに体調を崩してしまったことです。やはり、原因としては、食生活の乱れにあると思います。自炊がほとんどになると思いますが、そこで簡単さをとってしまいパスタを中心とした食事をしていました。ドイツのスーパーでもお米は手に入りますので、お米を定期的に摂取することをお勧めします。フランクフルトにはアジアスーパーもありますので、ぜひ活用してください。

楽しかったことは、オクトーバーフェストやクリスマスマーケットなどのシーズンイベントに参加したことと、ヨーロッパを周遊旅行できたのがとても印象に残っています。普段の生活や講義、人との交流もとても充実したものでした。